



全5回

※一部の回のみ参加も可

土曜日 19:00～20:30

世界を読み解くゼミⅡ

～農業開発分野の国際協力から見た課題と展望～

今、世界では何が起きているのか、これからの時代、どのような未来を創造していけるのか。国際農業開発の分野で世界各地で活動を展開してきた講師と共に、様々な視点から世界情勢について理解を深め、未来について一緒に考えてみませんか？今回は2008年に全4回にわたって開催されたゼミの第2弾です。

講師

わたなべ なおと
渡部 直人 氏

・農学博士
・国際農業開発コンサルタント
(略歴は裏面をご覧ください)

参加

どなたでも参加できます

※事前の申し込みが必要です
途中回の参加も可能です

場所

出羽庄内国際村 ホール
または研修室

参加費

全5回 2,000円 ※賛助会員一割引き
(500円/回 一部の回のみ参加の場合)
※学生は無料

第1回

11月14日 (土)

多様性の魅力溢れるブラジル

第4回

令和3年1月9日 (土)

貧困と農業開発

マラウイ・東ティモール

第2回

12月5日 (土)

ブラジル半乾燥地農業
気候変動と砂漠化

第5回

令和3年2月20日 (土)

「真の持続可能な社会とは」
パキスタン・フンザから問う

第3回

12月19日 (土)

農産物貿易
ーマレーシア、日本、パキスタンー



【講師】 渡部 直人 氏(農学博士)

国際農業開発コンサルタント

庄内農業高校卒業 中央大学法学部卒業 山形大学農学部修士課程修了
岩手大学農学部博士課程修了

【略歴】

約25年間の兼業農家の後国際農業開発コンサルタント業に従事。

2009年株式会社アグリ・エナジーインターナショナル設立、JICA等の農業開発事業を受注。

2003年から名古屋大学大学院、岩手大学大学院、東北公益文科大学・福島県農業短期大学校、
山形大学農学部等で非常勤講師を務める。

社会活動:難民支援NGO ・ JICA 国際緊急援助隊医療チーム医療調整員(インドネシアの地震災害の際に2度派遣される)

農業開発業務実施国:タイ、ヨルダン、マラウイ、パキスタン、東ティモール、エスワティニ
(旧スワジランド)、ブラジル、マレーシア

【著書】

「地域と資源」:2000年 国際協力研究会 単著

「現代ブラジル辞典」2015年 ブラジル商工会議所 共著

≪講師のコラム≫

「時代の責任」

ブラジルやオーストラリアでの森林火災が深刻な状況である。私が大学院で林業政策を学んでいた当時も、もちろん森林火災は毎年発生していた。しかし国によっては「自然発火による森林火災は人的被害防止の為に消火以外禁止」という規則がある、とも教えられた。火災によってはじめて種の更新が可能な樹種もある。過剰な人為的対処はむしろ自然のバランスを崩すという考え方であった。

さて私は約30年間の農業従事後、中東、アフリカ、南アジア、西アジア、南アメリカ等で農業開発の仕事に従事、2009年から6年間はブラジル東部の州の農業、畜産、漁業省事務次官チーフアドバイザーとして半乾燥地農業プロジェクトリーダーの業務に従事した。この間対象地域は深刻な早魃に見舞われ、その対応に追われた。プロジェクトではこの間の詳細な情報収集と乾燥地における農産物生産実証試験を続けた。この時すでにアマゾンの熱帯雨林に連なる半乾燥地では砂漠化現象が見られ、アマゾンの熱帯雨林の側に砂漠が出現する状況であった。

アマゾンの森林火災では経済活動としての農業開発や森林伐採に起因するものが多くあることは明白である。ブラジルの半乾燥地における早魃やオーストラリアでの森林火災も、その地域のみならず世界中の人間の活動とりわけ経済活動が一因であり、激しい気候変動の原因ともなっていると認識に誤りはないだろう。その認識をベースに行動ができるのは唯一人間であり、私たちの行動はこの時代への私たちの義務であり次の時代に対する責任である。

気候変動は食糧生産にも今後極めて深刻な影響を与える可能性がある。それは森林火災や水害等の増加による農作物生産量の減少である。さらに、気候変動は農薬使用の増加も招くだろう。それによる昆虫類の減少は動植物の種の減少にもつながる深刻な問題である。

私達は「ブラジル東部半乾燥地開発戦略書」を世界銀行に提出した。

私たちの行動が問われている。地球は危機的状況にある。